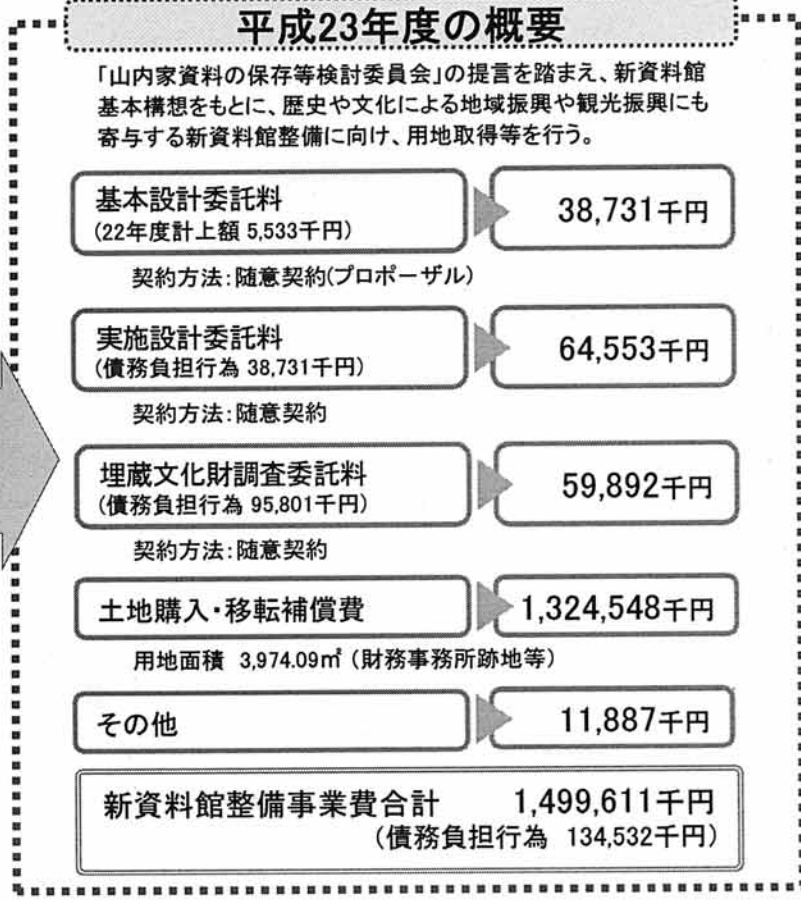
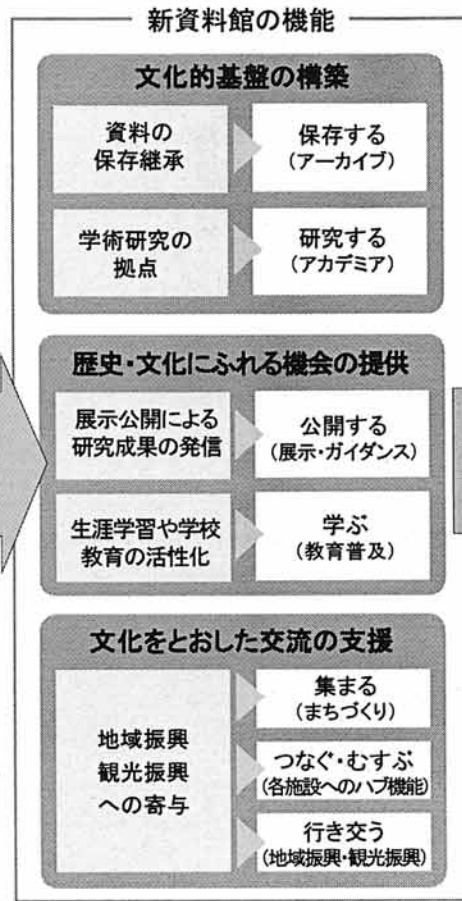
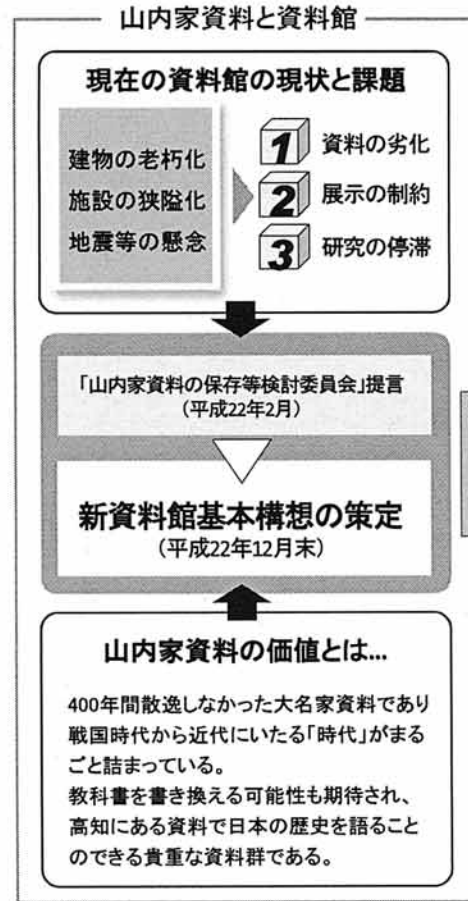


# 新資料館整備事業費 山内家資料を核とした歴史系の文化施設で「歴史の国—高知」を強力にアピール!!

1,499,611千円(文化・国際課)



### 開館までの事業の流れ

基本設計 [22-23年度]

実施設計 [23-24年度]

整備工事 [25-26年度]

開館準備 [26年度]

新資料館開館



- 用地取得
- 埋蔵文化財調査等



- 建築工事
- 展示工事
- 外構工事等



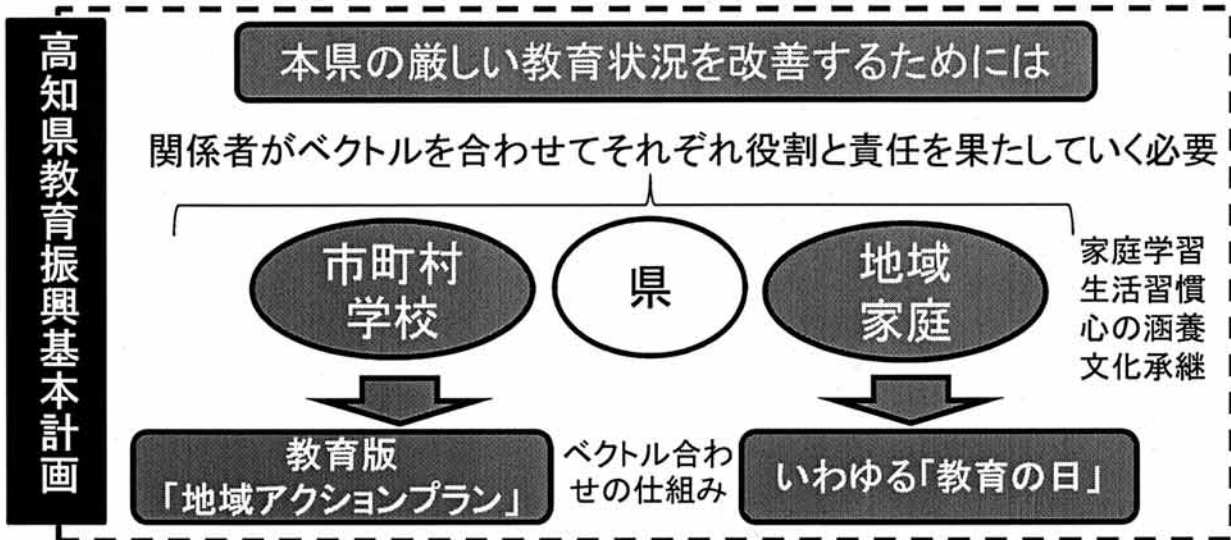
山内家資料の移転等



平成26年度中の開館を目指します



# 教育振興に向けた市町村支援と県民運動の推進 129,113千円



**教育版「地域アクションプラン」推進事業**  
125,696千円

**【目的】**  
高知県教育振興基本計画を効果的に推進するため、

- ①県教委と市町村教委が連携・協力し、教育施策を協働で展開する。
- ②市町村教委に対する県教委の人的・物的支援を明確にする。
- ③上記①及び②に基づき、県全体の教育の振興と成果の共有を図る。

・地域教育振興支援事業費補助金  
(1)実施主体：各市町村教委等  
(2)補助率：1/2以内  
(3)補助限度額：  
1市町村当たり8,000千円

市町村の政策立案能力の向上を図り、各地域における課題克服のために自ら取り組んでいく状況を定着させることで、県全体の教育振興を！

**【組替新】教育の日推進事業**  
3,417千円

**【趣旨】**  
生涯学習フォーラムを契機として教育的な風土づくりを進めるため、県民一人ひとりが今の教育について考え、行動するためのきっかけとする。

ころざし

- ・ 毎年11月1日を「志・とさ学びの日」とする。
- ・ 7日までを「とさ学びの週間」とする
- ・ 『「志・とさ学びの日」県民会議(仮称)』を設け、毎年の重点テーマ等を決定。

- ・ 県教委は、教育の現状を改めて公表
- ・ 住民との意見交換の場を設定
- ・ 各種表彰の実施
- ・ 関係団体も、学校開放等、それぞれ県民参加の場、考える機会を設ける

単発の打上げ花火的イベントでなく、「普段の行事」を住民に開放し、実態を見て考えてもらうことで着実に、教育風土に変化を！

# 外国語教育推進プラン 9,388 千円

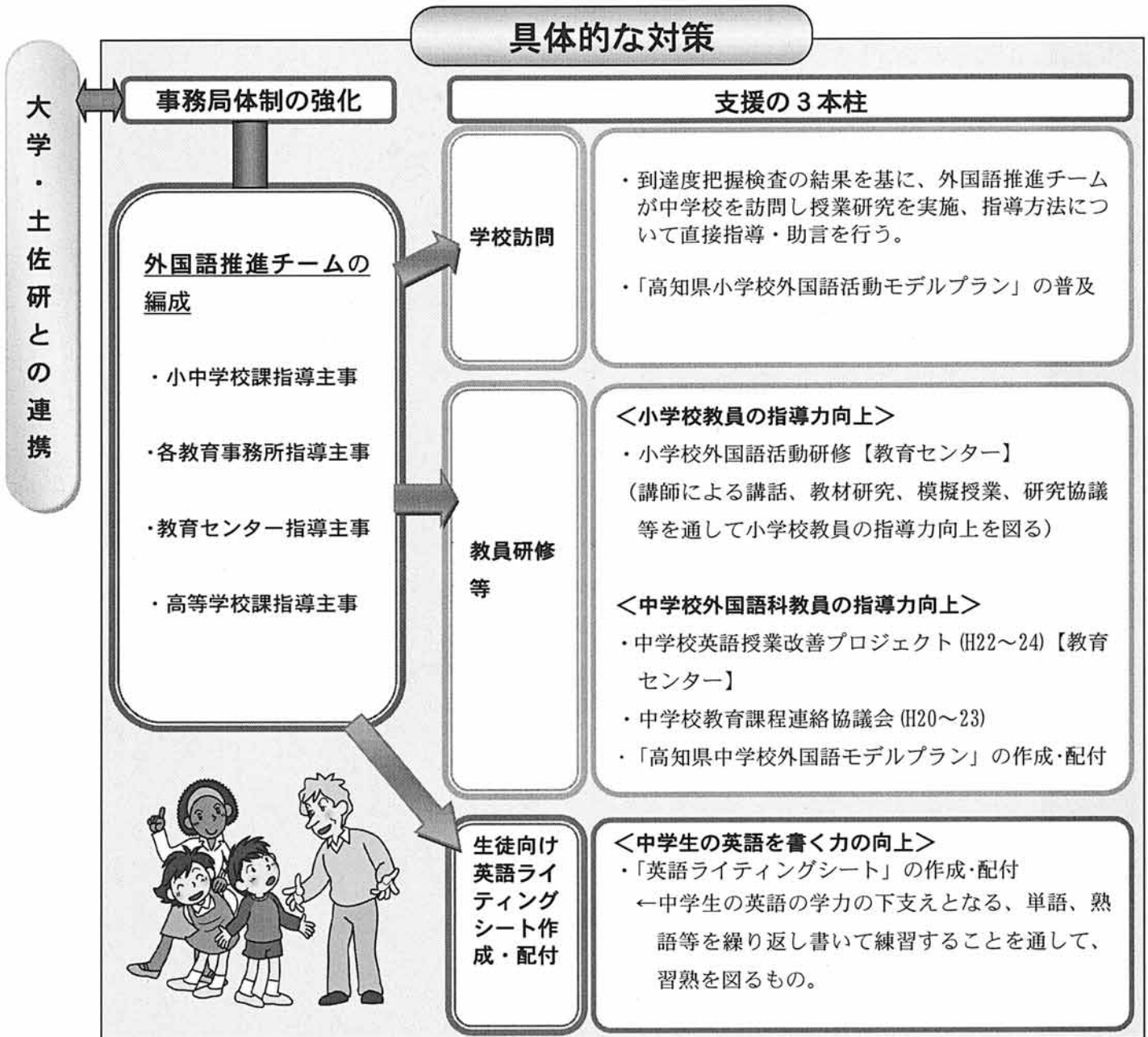
小中学校課

## 課題

- 小学校外国語活動における授業づくりに課題（教員の指導力向上、中学校との連携）
- 到達度把握検査結果から中学生の英語の学力に課題（平成22年度正答率全国比0.88）

平成23年度以降の小学校外国語活動の充実及び中学生の英語の学力の向上など、県内小・中学校における外国語教育の一層の推進が必要。

## 具体的な対策



## 見込まれる具体的な効果

- 事務局体制の強化により、学校訪問による各校への個別支援が充実し、学校の実態を踏まえたきめ細かな支援が可能となることで、小・中学生が質の高い授業を受けることができるようになる。
- 中学校外国語科における授業づくりのスタンダードとしての「高知県中学校外国語モデルプラン」の活用により、外国語科の授業の質が向上する。
- 「英語ライティングシート」の活用により、生徒の英語の学力が向上する。



## 理科教育推進プロジェクト 4,046 千円



### 背景

- 本県の児童生徒や教員の現状
  - ・児童生徒の実験・観察への興味・関心は高いが、すじみちをたてて思考・判断する学習には苦手意識がある。
  - ・「将来、科学的なことにかかわる仕事につきたい」と思っている児童生徒の割合は少ない。
  - ・小学校教員は観察や実験に苦手意識があり、中学校教員はものづくり学習への取組に課題がある。
  - ・授業におけるICT機器の活用が十分に行われていない。
- 新学習指導要領の全面实施（小学校→H23、中学校→H24）
  - ・指導内容の増加（小学校16%増、中学校33%増）
  - ・小中高を通じた系統性や生活と関連づけた指導の重視

### 課題

- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 観察・実験・ものづくりの充実
- 日常生活と関連づけた授業の工夫
- ICTの活用
- 接続・関連の重視

### 具体的な取組

#### 理教系教員（CST：コア・サイエンス・ティーチャー）養成拠点構築事業

##### ●中核教員養成

- ・CST養成  
⇒上級CST・中級CST
- ・理科の中核教員の計画的な養成と配置

##### ●理科教育拠点校づくり

- ・CST養成の場  
⇒上級CST・中級CST
- ・地域の理科教育研修の場
- ・地域の理科教育の推進

連携

土佐教育研究会

高知大学

共同実施（3市）

#### 教員の指導力向上

- 小・中学校理科観察・実験基礎講座Ⅰ・Ⅱの開催  
（理科経営力、実験・観察における技能、ICT活用能力）
- 小・中学校理科担当教員連絡会
- 理科支援員の配置

#### 児童生徒の実態把握

- 到達度把握調査の実施  
小学6年生～中学3年生

#### 生徒の科学的思考力の向上

- 理科思考力問題集の作成と配付  
小学5年生・中学2年生

### 見込まれる成果

- ◆児童生徒の理科学習意欲の向上
- ◆科学的な思考力や表現力の向上

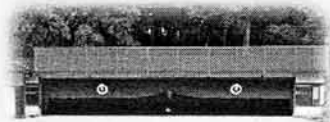
学力向上

# 新弓道場整備事業

平成23年度予算額  
45,856千円

スポーツ健康教育課

## 現状



◎年間25,000人程度の利用者

◎近的射場2射場、遠的射場1射場

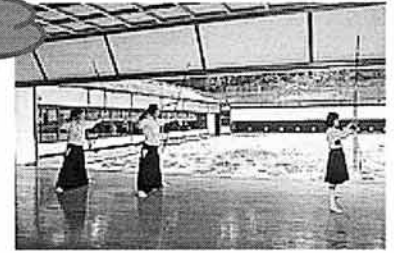
⇒利用人数に比べ施設が手狭で過密状態にある

⇒多くの選手を一度に受け入れることができない(全国大会、合宿等)

⇒強化練習のため県外に出向いている

※高知国体(平成14年)を仮施設で開催

弘徳館



平成20年12月

高知県弓道連盟から弓道場建設についての要望書提出

平成25年10月

全国健康福祉祭「ねんりんピック」の開催

高知市の土地を無償で借地

施設の維持管理は県が行う

高知市弥右衛門公園予定地内に**新しい弓道場の建設**を計画

平成23年度：実施設計・地質調査、公共残土の受入・土地造成等(45,856千円)

平成24年度：着工・完成



## 期待される効果

### 弓道競技の普及振興、競技力の向上

新たな弓道場の建設により、練習環境が整い、学生や一般利用者が効率的に練習ができる

### 全国規模の大会や県外チーム合宿の誘致

射場や観客席が十分確保でき、全国大会や合宿に対応できる

### 緊急避難場所としての活用

防災機能を擁する公園内に建設することから、選手控室となる2階部分を緊急の避難場所として活用できる

